

四 国

四国の景況は、輸出が足許減少したものの、個人消費、設備投資が持ち直しの動きとなるなど、回復。

個人消費は、家電大型専門店販売やドラッグストア販売が増加し、乗用車販売も増加するなど、持ち直しの動き。住宅建築は、持家が増加したものの、貸家、分譲住宅が減少するなど、弱含み。設備投資は、製造業、非製造業ともに投資を積み増す動きがみられるなど、持ち直しの動き。公共工事は、独立行政法人等が増加したものの、国、県、市町村が減少するなど、弱含み。輸出は、化学製品や船舶が減少するなど、足許減少。

生産活動は、食料品、非鉄金属、輸送機械が減少したものの、プラスチック製品、金属製品、一般機械が増加するなど、持ち直しの動き。観光は、台風や豪雨により観光地や温泉地への入込客が伸び悩むなど、足踏み。雇用は、有効求人倍率が高水準で推移し、現金給与総額が増加するなど、回復。

先行きは、回復の動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								